

てしお

議会だより

No.160

平成30年1月31日発行

北海道
天塩町議会



第4回定例会

- ふるさと納税返礼品などで補正・・・2
- 暴風被害で行政報告ほか・・・3
- 産業・総務各常任委員会が道内視察ほか・・・8
- 表紙の写真/
住民参加企画「まちのこえ」ほか・・・10

一般質問

4名議員が町政を問う

- 今後の土地利用とまちづくりは・・・4
- 無線LAN整備をどう進める・・・5
- 指定管理者の監督をしっかりとほか・・・6
- 行政資料の保存と歴史財産の活用をほか・・・7

天塩町議会 |

検索

「議会のうごき」をHPに掲載しています
<http://www.teshiotown.hokkaido.jp>

12月 第4回定例会

12月14日～15日

平成29年12月定例会は、12月14日に開会し、会期を15日までの2日間と決め、4議員が一般質問を行い、防災、歴史財産の活用などについて活発な議論が交わされました。

また、29年度一般会計、特別会計の補正予算案や条例案などの議案を審議し、原案通り可決しました。



ふるさと納税返礼品などで

4億6533万円追加

29年度補正予算

●一般会計

歳入歳出の補正予算は4億6533万円を追加し、総額を51億300万円としました。

歳出の主なものは、ふるさと応援基金積立金（歳入として町に入る寄附金を基金として積み立てるもの）で1億5千万円、ふるさと応援寄附金特産品贈呈事業（ふるさと納税への返礼品関係）で2億1567万円、介護サービス提供基盤等整備事業費交付金（民間グループホーム建設関係。全額道費措置）で4573万円、病院事業特別会計への繰入金で5216万円の追加です。

質疑要旨

ふるさと納税の基本理念は

遠藤

ふるさと納税の基本理念は地域産業に結びつけること。地元のものを使うこと。地元のものを使うと雇用が生まれ、税金が入ってくるが、新聞報道によると、返礼品の主体がカニのことだ。どのように考えているのか。

遠藤

ふるさと納税の使い道については納税者が6項目から選べるが、多額の金額が集まる中どのようにお金を使うのかという基本理念がなければならぬのでは。見直しをする必要はないか。

齊藤副町長

報道では、1つのポータルサイトを取り上げて書かれています。その他のサイトでは、町内の産品が伸びており、またカニについても天塩の業者が扱い、町内業者に利益が還元されている側面

町長

より柔軟な取り組みができるように今後検討したい。

条例

（主なもの）

・天塩町職員の給与に

関する条例の一部改正

人事院勧告による国の法改正に準じ、俸給表の水準を平均0・2%、勤勉手当を0・1ヶ月引上げ。

・特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
・議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

職員給与と条例改正に準じ期末手当を0・1ヶ月引上げ。

・天塩町林業研修センター(夕映本館)設置条例の一部改正

・天塩町宿泊施設(夕映新館)の設置及び管理に関する条例の一部改正
・天塩町民保養センター(夕映)設置条例の一部改正

施設の改修に合わせ規定を整備するとともに利用料を改定。

その他

・林業研修センター、天塩町宿泊施設、町民保養センターの指定管理者の指定

3施設の新たな指定管理者を(株)虎杖(本社白老町)に指定。期間は平成30年4月1日～平成33年3月31日。

・財産の取得
改修中の林業研修センター、天塩町宿泊施設の備品購入について(有)くさかりとの契約を原案可決。

・財産の処分
天塩バイパス沿いの町有地である字川口5692番地の8、同番地の9(合わせて7434㎡)を(株)キセキ北海道(本社 岩見沢市)に売却することについて原案可決。

暴風被害の状況を報告

12月定例会で町長から行政報告



暴風被害について

11月11日、暴風・波浪警報が発表され、被害情報等の収集に努めました。最大瞬間風速は32・1メートルでした。把握した被害状況は、酪農家等の農機具庫の全壊2件、屋根・シャッター剥離等44件、被害総額が概算で2845万円です。商店、一般住宅等では、屋根・車庫等のトタン剥離9件、町有施設では、恵愛荘の車庫シャッターの剥離、庭木の傾倒、富士見団地5号棟の屋根一部剥離、スポーツセンターの自転車小屋倒壊、啓徳小学校のプレハブ物置一部損壊、ごみステーションの転倒1

箇所などです。その他、スノーボールの転倒、樹木転倒、建築現場の資材飛散です。なお、人的被害の報告はありませんでした。

シェアリングシティの認定について

本町では「天塩く稚内間の相乗り交通事業」と「クラウドソーシングによる働き方改革」の2つの事業を実施しています。シェアリングエコノミー(遊休資産を活かし経済を回していく概念。場所、モノ、人材スキルなど有形・無形は問わない)で地域課題の解決に取り組む自治体として一定条件を満たしていることから、シェアリングエコノミー協会から11月8日付けでシェアリングシティに認定されました。シェアリングシティは同協会が本年度創設した制度で全国15自治体、道内では天塩町が唯一の認定自治体です。今後はモデルケースとして情報発信していくとともに他の認定自治体と連携・交流を深めながら、地域課題の解決に努めていく考えです。

本町では「天塩く稚内間の相乗り交通事業」と「クラウドソーシングによる働き方改革」の2つの事業を実施しています。シェアリングエコノミー(遊休資産を活かし経済を回していく概念。場所、モノ、人材スキルなど有形・無形は問わない)で地域課題の解決に取り組む自治体として一定条件



▲新しい働き方セミナー

第4回臨時会

10月19日
衆院選執行経費などに係る専決処分を承認

10月19日に招集された第4回臨時会では、一般会計補正予算の専決処分1件を承認したほか、工事請負契約の締結1件について原案どおり可決しました。

一般会計

歳入歳出の補正予算は566万円を追加し、総額を46億3766万円としました。歳出の主なものは、第48回衆議院議員総選挙及び第24回最高裁判所裁判官国民審査に係る執行経費です。

・農業基盤整備促進事業
天塩東地区暗渠排水整備工事

菊地建設(株)と工事請負契約を締結。

石山直継 議員

今後の土地利用とまちづくりは

町長 具体的な考えには至っていない

に着手するべきでは。

町長

有効な活用方法を模索しています。

石山

① 公営住宅跡地の今後の利活用方法の考えは。
 ② 海岸通にある旧民間病院の建物は、個人所有物につき、取壊し等は難しいとのことだが、強風時には飛散物の恐れもある。条例に基づき、行政が関与し整理していく考えか。
 ③ 少子高齢化により人口減に歯止めがかからず、若年層が都市部へと移っている。長期計画の中でコンパクトシティ化を推進してはどうか。住みやすいまちづくり



① 行政財産となつている跡地（海岸1・山手裏1の潮見団地跡、合わせて約4488㎡）については、公営住宅長寿命化計画の策定作業と合わせながら活用方法、必要性について検討し、建設用地・駐車場用地としての予定や必要性が無いと判断した土地については、普通財産へ変更し一般の方が活用できるようにする方向にしていきたい。普通財産となつている跡地（海岸1の潮見団地跡、約1984㎡と、山手裏2の川西団地跡、約1325㎡）については、遊休地となつているのが実態であり、

② 平成28年7月1日に空き家対策等協議会を開催し、特定空き家とすることを確認し、対象者37名に適正管理に関する改善指導書を送付しました。指導の段階で18名が相続放棄することとなったことから現在の法定相続人は19名であり、このうち海外に移住して所在不明の3名を除く16名に対し、29年8月末を期限として勧告を実施しましたが、11月末現在でも意思表示がされていないため同協議会を開催の後、条例に基づき除却・修繕など必要な措置をとるよう命令を実施することとしています。

③ 様々な課題がありませんが、限られた財源で最大限の効果を高めるため施策の優先度を定めた町政を進めていきたい。

石山

① 普通財産となつている団地跡について、なぜ早く区画割をして町民に公募・売却しないのか。
 ② 次期総合振興計画とも合わせてコンパクトシティ化を図っていくべき。町長の考えは。

総務課長

① 持家住宅の推進をしています。経費をかけるほど需要は少なく、相談を受けてから対応をとっていくところです。

町長

② 今後、施設整備の際には、他の施設が持つ機能の統合・廃止を慎重に検討して進めなければならぬと考えています。

石山

① 普通財産の土地については、相談があつてから区画割をしては遅すぎるのでは。
 ② 少子高齢化が進む中、町のコンパクト化により病院に通う人や買い物難民が救えるのでは。考えを再度伺う。

③ 町長は質問に対し検討・検証するというが、次の議会までに検証する



▲遊休地となっている町有地のひとつ

町長

① できる限り効率の良い形が最善だと思います。

② 具体的な段階には至っておらず、可能な限り追求していきたい。
 ③ 見直しながら努めていきたい。

横山 敦 議員

無線LAN整備をどう進める

町長 住民に有効活用されるよう進めていく



横山

①事業全体の事業費と財源の内訳は。

②事業完了年度と運用開始時期、ランニングコストは。

③将来的に防災無線を廃止し無線LANに一本化する方針なのか、また住民課との連携や事業推進は図られているか。

町長

①総事業費で約10億円を予定し国の補助が3分の2、残り3分の1は過疎対策事業債が充当

でき、補助対象経費を約8億円とすると、町の持ち出しは約8千万円となります。

②30年度は幹線部分を、31年度は支線部分を整備し、ランニングコストは、80か所のアクセスポイントで1か所当たり、電気料月約4千円、保守経費年約4万5千円、光ファイバー使用料年72万円となります。

③防災無線は平成34年11月までに更新の必要があります。無線LANと補完しながら活用していきたい。他課との連携や事業推進については協議、検討中です。

横山

町の持出しが補助対象外経費2億円と8千万円合わせて、約2億8千万円、ランニングコストが800万円を超えるとのこと。当初、町内どこでもWi-Fiの電波が受信でき、更に防災無線に代わるシステムだと認識をしていたが、現時点の事業計画と町の持出し額は自身の考えから大きく異なるもの。現段階の防災無線を廃止せず補完しながら活用していくとすると更新費用約5億円やランニングコスト400万円に加え、無線LANの導入費用とランニングコストがかかることになる。

①住民課が無線LAN

をどのように活用するのか方向性が定まっていない状態で4年以内に防災無線の更新が必要となった場合、更に大きな財政負担を強いられるのでは。

②農村地区におけるブロードバンド環境の整備は必要だが現設計では一部の住民のニーズにしか応えられず、費用対効果が極めて低いことから、携帯キャリアの電波を活用し不感地帯を解消していくなど、事業のすみ分けが必要では。

③総事業費10億円にも



▲防災無線の操作盤

上るビックプロジェクト。町長はトップとして、全課・全職員に対し各課の課題を洗い出し、無線LANを活用した課題解決の方策を考えることや住民サービスの向上をどう進めるかについて具体的に指示をしているのか。

町長

①③全課をあげて、という指示はしていませんが30年度の一番大きな事業であり、整合性を取れなければ余計なお金がかかり、無駄なことになってしまいうことだけは避けたいと思っています。全課で取り組むようにしていきたい。

総務課長

②携帯電話会社で調べてもらっています。携帯キャリアの電波がないところを無線LANでカバーする考えにも転用できると思っています。

横山

トップの指示がなければ担当課も動けない。協議が未熟なまま、本事業を進めていくのはかなりリスクが高いと感じる。事業の効果・経費など広い観点から、どうすれば少ない経費で最大の効果が得られるのか、住民のあらゆるニーズにこたえていけるのかを再度、検証、精査する必要があります。

町長

質問の趣旨のとおりだと思います。そう進めなければ逆に無駄な投資になってしまい、禍根を残すと思いますので、有効に活用される内容に置き換えていく必要があると考えており、情報を捉えながら進んでいくようにしたい。

指定管理者の監督をしっかりと

町長 町民が満足できるように指導する

えるか。

町長

①待機者は平成29年9月の時点で21名います。恵愛荘本館（昭和51年竣工）が耐用年数を迎える6年後までには新たな施設か、リフォーム等で施設の寿命を伸ばすことが適当なのか検討していきたい。

ニーズの把握に努め、指定管理者との協議を行う考えです。現在の指定管理者については、年度末で指定管理期間が満了しますが、施設の目的に沿った管理運営のため、指導していきたい。



谷村

①特別養護老人ホーム（恵愛荘）には、入所待ちが20名ほどと聞くが、今後、施設の増改築などの考えは。

②町民保養センター（夕映）の指定管理について、町はこまめに監督を行い、また利用者モニター等を置きながら広く意見を聞いて進めるべきと考えるが、町長の考えは。

また、現在の指定管理者は明らかに協定にそぐわなかったと思われるが、どのように考

②当該施設の指定管理者については、平成27年10月からプロポーザル方式で公募により選定しています。町は施設の設置者として、町民が満足できるため協定に基づき適切に施設が管理運営されているか定期的に確認し、必要に応じて実地調査や指導を行うとともに利用者の



▲指定管理者が変わる改修中の夕映

町民への対応と各課の連携は

町長 ある程度できている

谷村

①毎週行われている課長会議で、各課の連携はしっかりとしているか。

②職員の評価制度があるが、実行評価等を行っているのか。

③課内での職員の連携と指導はしっかりとできているのか。

④公務員としての研修会は。

⑤役場1階ロビーの見箱に町民の意見等が入っていないのか。

②人事評価制度マニュアルに基づき実行評価等を行っています。

③係長職以上ではない職員については、課の発令とし、係に捉われず横断的に対応できるように配置しています。

④役職・職務ごとに求められる資質向上のため町村会などで研修を行っています。

町長

があるが連絡・打合せをしながら課長会議を進めているのか。

②町長は町民から苦情を聞いたことはないのか。

①今の体制で職員同士、課同士の連携はある程度できていると感じます。

②住民は来庁時に緊張感を持ってしていると聞きました。こちらから言葉をかけて対応することが必要だと思います。職員が住民のためにどのようなサービスをしていくかも考えていきたい。

町長

①週の初めに課長クラスを集め課長会議を開催しています。行事予定や会議に関する事項の調整のほか、複数の課に係る事業についてもその場で確認しています。

谷村

①各課の連携が図られているのか疑問な部分

遠藤功 議員

行政資料の保存と歴史財産の活用を

町長 資料の収集体制を検討したい



遠藤

① 新編天塩町史刊行から25年が経過する中、公文書等の保存管理体制は。行政資料に知識を持った専任職員を配置するべきでは。

② 天塩川歴史資料館は平成元年に開設され、新たにしてお塾を開講するなどしているが今後の運営改善は。

③ 堅穴住居址とアイヌ民族の生活文化を天塩の歴史にどう位置づけるのか。

④ 歴史資料館開設30周年記念事業の内容は。

⑤ 北海道150年事業への参加は。

⑥ 来年度開催のカヌーツーリング国際大会で終点となる本町の事業展開は。

町長

① 資料の収集体制を改めて検討したい。専任職員の配置は一考すべき事項と考えています。

② 新編町史の編纂に携わった3名の先生などから改善点を教示いただき、内容の検討をしているところです。

③ 観光と教育で活用できる取組みの中で歴史を伝承する仕組みを検討します。

④ 特別展示などを考えています。

⑤ 各種イベントに150年事業の名を登録し、歴史を振り返る機会としたい。

⑥ ゴール、閉会式会場のスタッフとして全面協力し大会の成功に向けて取り組みます。

遠藤

① 鏡沼海浜公園に松浦武四郎の像があるが、歴史資料館敷地内に移設するべきでは。

② 歴史資料館を北海道遺産に登録申請する考えは。

町長

① 多くの人の意見を聞いて結論付けたい。

② 条件整備をしていかなければならないと考えています。

遠藤功 議員

町花・町木の普及と活用を

町長 郷土愛を育む取組みを検討したい

遠藤

天塩町の町花としてハマナス、町木としてエゾヤマザクラが選定されてから40年余りが経過しているが、初心に立ち返り、普及に努めるべき。

り組む考えか。

町長

① ハマナスについては、平成19年度に百万本のハマナスが咲き誇る丘を目標にハマナスの丘が整備されました。今後は子どもから高齢者まで、地域の特色や郷土愛を育むことにつながることを目的とした取組みを検討したい。

② エゾヤマザクラについては、乙和園などに桜並木があるほか、平成11年度から民安ダム周辺のサクラの森づくり事業として植樹がされています。先進地の取組みを参考としながら検討を重ねていきたい。

遠藤

① 町民への先進地事例の情報提供のほか、取り組みたいという町民がいた場合に先進地研修に力を貸すべきでは。

② 隣町の新年交礼会では、出席者全員が町民憲章を朗読していると聞く。天塩町も実施するべきでは。

町長

① しっかりと取り組んでいくように努力したい。

② 次回の町新年会において、取り組みたい。



▲町花ハマナス

先進地を視察・調査

産業厚生常任委員会
総務文教常任委員会

道内所管事務調査 レポート

10月10日
～12日

産業厚生常任委員会

廃校を利用した取組みなどを調査

産業厚生常任委員会
は10月10日～12日に、①

廃校施設を利活用した
取組み（登別市）②道内
道の駅の状況（伊達市
ほか）③医療・福祉・介
護が連携した複合施設
（沼田町）について道内
所管事務調査を実施し
ました。調査結果は次の
とおりです。

① 廃校施設を利活用し た取組み（登別市）

【施設の概要】

当施設は平成12年、旧
札内小学校を改修して
開業。運営については、
（株）のぼりべつ酪農館に
指定管理委託している。
乳製品などを製造して
いるほかバター、アイス
クリームづくりの体験
学習の場となっている。
また体育館の開放も行



▲のぼりべつ酪農館

【設置から現在まで】

平成2年、市内の酪
農家・市民による登別
市農業振興研究会が設
立され、地場の乳肉品
の加工研究が始まった
が安定した製品研究の
場が無く市に対して施
設・設備の整備要望が
行われた。また札内小
学校の廃校が決定して
いたが地域住民からコ
ミュニティの場として
残してほしいとの要望
があった。市は平成11

年度に校舎を改修し、
12年4月にオープンさ
せ、加工研究・施設の管
理、体験学習業務を登
別市農業振興研究会に
委託した。改修費用は約
1億4700万円。その
後、（有）のぼりべつ酪農
館による運営を経て現
在は（株）のぼりべつ酪農
館による運営となって
いる。商品は、牛乳、プ
リン、ソーセージ、チー
ズなどが製造され、「のぼ
りべつ牛乳」は市内の小
中学校で給食用飲用牛
乳に採用されている。

【委員会の意見】

天塩町内には廃校施
設が複数あるが、有効に
使われていない状況が
見受けられる。廃校の利
活用策を積極的に検討
するべき。

② 道内道の駅の状況

【調査の概要】

伊達市など胆振、後

志、石狩管内の道の駅
8箇所を視察。いずれ
の道の駅でも住民が持
ち寄った野菜が安価で
販売され活況を呈して
いた。またコロッケの
ように立ち寄った際に
手軽に持ち帰りできる
商品が販売されていた。

【委員会の意見】

本町の道の駅はリ
ニューアルが検討され
ているが、具体化して
おらず、早期に方針を
打ち出すべき。

③ 医療・福祉・介護が 連携した複合施設（沼 田町）

【施設の概要】

沼田町が推進してい
る「歩いて暮らせるま
ちづくり」を目指す「農
村型コンパクトエコタ
ウン構想」の一環とし
て、平成29年10月、旧中
学校跡地に医療・福祉・
介護が連携した複合施



▲沼田町総合センターのカフェ

設「地域密着多機能型
総合センター」として開
業。運営は無床診療所部
分を北海道厚生連に、デ
イサービスセンターを
社会福祉協議会に指定
管理委託。そのほか社会
保障制度や健康の相談
窓口として暮らしの保
健室を設置。ラウンジや
カフェも備え、多世代交
流の場となっている。

【委員会の意見】

縦割りではなく総合
的視点に立ち、統計や人
口動態のデータをもと
に計画を立てていくこ
とが重要。

10月24日
～26日

総務文教常任委員会

小中高一貫教育などを調査

総務文教常任委員会
は10月24日～26日に、①
サクラを通じた小学生
への緑化普及活動（雨
竜町）②小中高一貫教育
（鹿追町）③観光・防災
Wi・Fiステーション
整備（新ひだか町）に
ついて道内所管事務調
査を実施しました。調査
結果は次のとおりです。

水路景観整備区間に植
樹している。

【委員会の意見】

天塩町の町木もエゾ
ヤマザクラであるが、町
民と一体となった取組
みや教育が必要。



▲用水路沿いに植樹された桜

①サクラを通じた小学 生への緑化普及活動 （雨竜町）

【事業の概要】

雨竜土地改良区を主
体に小3児童を対象と
して校内の桜から種を
取り校庭で1年間、指導
林家において2年間苗
を育て、児童が6年生に
なった年に卒業記念植
樹としてエゾヤマザク
ラの苗木を雨竜幹線用

②小中高一貫教育 （鹿追町）

【事業の概要】

コミュニケーション

重視の英語教育を5歳
児も含めて13年間にわ
たって行い、鹿追高校1
年生は全員がカナダへ
短期留学をしている。ま
た、13年間の課程に系統
性を持たせ、1・4・4
・4の区切りを導入し
た交流学习を行い、円滑
に学校への適応ができ
るような取組みが行わ
れている。

【委員会の意見】

天塩町においても英
語力の向上に取り組ん
でいるが、指導者や保護
者の理解や町の環境を
整えていく必要がある。

③観光・防災Wi・F iステーション整備（新 ひだか町）

【事業の概要】

観光客や地域住民へ
の情報伝達手段として
官公庁、観光案内所、小
中学校、指定避難所に
Wi・Fiステーション

ンを設置している。そ
のうち7箇所には大画
面デジタルサイネージ
機器を設置し、観光・
行政・防災情報を発信
している整備費用は
1億7604万円、う
ち8800万円が補助
金、残り8800万円が
補正予算債での借入れ
である。

【委員会の意見】

天塩町においても無
線LAN等情報伝達基
盤整備事業が進められ
ているが、災害時には同
時に全町民に知らせる
ことが必要であり、住民
の意見を幅広く取り入
れ効果的に進めていく
必要がある。



▲デジタルサイネージ

11月24日

総務文教常任委員会

天塩町無線LAN整備事業を調査

総務文教常任委員会
・Fiスポットとして
は11月24日、天塩町全
町無線LAN等情報伝
達基盤整備事業」につい
て所管事務調査を行い
ました。調査結果は次の
とおりです。

・天塩町全町無線LAN
等情報伝達基盤整備
事業について
計画である。全地区が補
助対象とはならず、町の
持出し額3分の1以上
になることも予想され
る。

【事業の概要】

避難所、災害対応の強
化が望まれる公的な拠
点などに情報伝達手段
を確保するもので補助
率は天塩町の場合3分
の2。天塩町の計画では
5ギガヘルツ無線シス
テムにより、認証サーバ
を役場に置き、無線中継
局により避難所、準避難
所指定農家等に発信さ
れ住宅や町内会館など
に受信機を設置しWi

【委員会の意見】

整備開始前に防災、福
祉、観光、農業など関係
部署の連携が必要。また
今後4年以内に、現在使
用している防災無線の
更新が必要となり5億
円の費用を要するとの
説明もあつたことから、
整備計画を慎重に行う
必要がある。

表紙の写真

認定こども園おひさまのカルタ大会



1月19日、認定こども園おひさまで、新春恒例のカルタ大会が行われました。

子どもたちは真剣な表情で読み手の先生の声を聞き、見つけると、「はいー」と勢いよく手を伸ばして次々に絵札を取っていました。園内には子どもたちの「見て！こんなにたくさん取ったよ！」「次は負けないぞ！」といった元気いっぱいの歓声が響きわたっていました。

今回は天塩青女俳句会の皆さんにお話を伺いました!



No. 6

天塩で活躍する人たちを紹介するよ!



天塩青女俳句会の活動は?

会員は20名ほどで、ほとんどが女性です。男性会員が増えると良いですね。45年ほど前から活動しているようで、現在は例会、勉強会など月3回ほどの集まりがあり、作った俳句は新聞に掲載しています。また、運動公園などへの吟行(俳句を詠むために出かけるところもあるようです)や、交流会でもっと多くの人に俳句を見てもらえる方法があると良いですね。会員が高齢化しているので、移動が不便です。バスを借りる際に助成などがあるとありがたいですね。

まちづくりについて感じることは?

他町の広報紙を見ると俳句が載っているとこも感じるようです。また、運動公園などへの吟行(俳句を詠むために出かけるところもあるようです)や、交流会でもっと多くの人に俳句を見てもらえる方法があると良いですね。会員が高齢化しているので、移動が不便です。バスを借りる際に助成などがあるとありがたいですね。

議会や議会だよりの印象は?

議会だよりは毎回読んでいます。紙面は見やすく良いと思います。皆さん、ありがとうございました。

(取材 佐々木・谷村)

編集・発行
議会広報特別委員会

- ◎委員長 後藤 忍
- 副委員長 横山 敦
- ☆委員 佐々木 裕之
谷村 敏彦

議会を「傍聴」しませんか?

次の定例会は
3月2日からの予定です。

この議会だよりは、わかりやすく、読みやすいUD FONT by MORISAWA を使用しています。